

01

ChatGPTとは？

ここで学ぶこと

- ・ ChatGPT
- ・ 対話型AI
- ・ 文章生成

「ChatGPT」は、2022年11月にリリースされた対話型のAIツールです。質問に対する自然な回答の生成により世界中で大きな評判を集め、個人や企業、あらゆる分野で活用されています。

1 ChatGPTとは



OpenAI

「OpenAI」は、AIの開発を行うアメリカの企業です。文章生成AIの「ChatGPT」のほかに、画像生成AIの「DALL-E」シリーズなどを提供しています。現CEOのサム・アルトマン氏とX(旧Twitter)などを経営するイーロン・マスク氏らによって、2015年に創設されました。



言語モデル

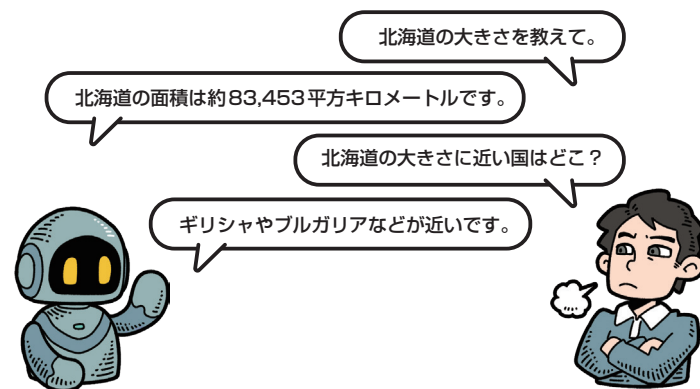
「言語モデル」は、言語の構造や文法、単語の出現パターンなどを学習したコンピュータプログラムです(18ページ参照)。与えられた文脈の中で次に来る単語や文章を予測することができます。

「ChatGPT」は、OpenAIが開発・提供する対話型のAIツールです。ChatGPTとチャット形式の会話を行うだけのかんたんな操作で、入力した文章に対して回答させることができます。

ChatGPTは、インターネット上や書籍などの膨大なテキストデータを学習した言語モデルにより、自然かつ的確な文章生成を可能としています。その性能は単なる会話にとどまらず、多岐にわたるタスクにも活用できます。

2022年11月にChatGPTが公開されると、文章生成のクオリティの高さや無料で利用できることなどから、世界中で大きな注目を集めました。公開からわずか5日後には全世界で100万人以上のユーザーを獲得し、2か月後には1億人以上の月間アクティブユーザー(一定期間内にChatGPTを利用したユーザー)を記録したのです。2024年2月現在、ChatGPTは個人だけではなく企業や自治体などでも利用されているほか、テレビやSNSなどでも連日のように関連ニュースが取り上げられ、その話題は絶えることなく続いています。

ChatGPTは対話型のAIツール



2 ChatGPTの特徴



ChatGPTが学習しているデータ

2024年2月時点でChatGPTが学習しているのは、2021年9月までの情報です。そのデータをベースに回答を生成するため、情報が正しくない場合もあります(21ページ、22ページ参照)。



ChatGPTの利用についての賛否

ChatGPTはその性能の高さから、従来の労働環境を大きく変えるきっかけになると期待されています。しかし利用方法には賛否両論あり、すでに業務への導入を開始している企業もありますが、教育機関では課題やレポートでの利用が禁止されるなど、慎重な姿勢も見られます。

ChatGPTには、以下のような特徴があります。

▶ 自然な対話ができる

ChatGPTは、まるで人間と対話しているような自然なやり取りを行います。また、質問(文章)の中に含まれる感情や微妙なニュアンスを捉え、それに適した表現で応答することも可能です。

▶ 多様なトピックに対応できる

ChatGPTは広範囲のデータを学習しており、幅広いトピックについての知識を持っています。それをもとに、多方面の分野に関する質問に答えることができます。

▶ 創造的な応答もできる

ChatGPTは単なる情報提供ではなく、質問の内容に応じて独自の表現方法やアイデアを生み出すなど、創造的な応答も可能です。

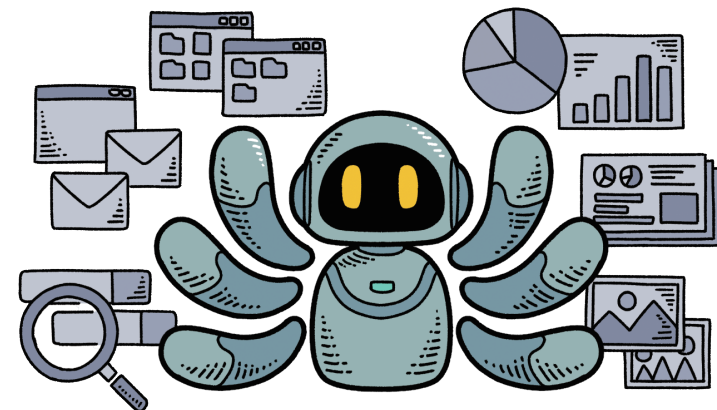
▶ 学習しながら成長できる

ChatGPTが学習しているデータは2021年9月までの情報に限りますが(2024年2月時点)、ユーザーが与える情報から新しい学習をすることが可能です。これにより、最新のトピックや知識に追従して、より適切な応答ができるようになります。

▶ 柔軟な回答ができる

ChatGPTは質問や要求に柔軟かつ適切な文章で応答でき、一度生成した回答の変更や調整もスムーズに行えます。異なる文脈や表現に対しても適切な回答を生成し、対話の一貫性を保つことができます。

ChatGPTはさまざまなタスクをこなせる



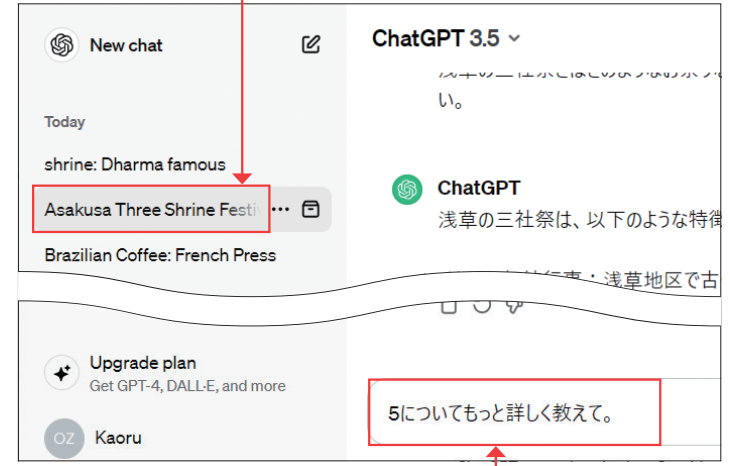
2 前のチャットルームのやり取りを再開する

注意
学習機能をオフにするとチャットルームは表示されない

質問した内容をOpenAIにデータ活用されたくないとき、学習機能をオフにすることができますが(140~141ページ参照)、この状態のときはチャットの履歴が残らず、サイドバーには表示されません。なお、一度オフにしたあとに再びオンにすると、オフにする前のチャットルームが再表示されます。

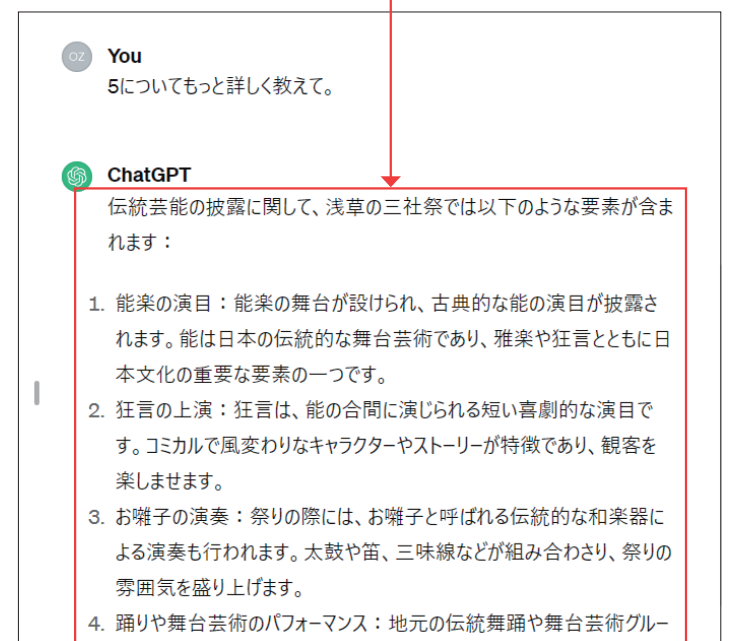
過去にやり取りをしたチャットルームに戻って、やり取りを再開することができます。

1 画面左側に表示されているサイドバーの上部から、やり取りを再開したいチャットルームをクリックします。



2 プロンプトを入力・送信して質問を開始します。

3 やり取りが再開され、前のやり取りの流れに沿った回答が生成されます。



Section 15

新しいトピックを質問するときはチャットルームを切り替えよう

ここで学ぶこと

- ・チャットルーム
- ・切り替え
- ・やり取り再開

これまでと別のトピックについて質問したい場合は、新規にチャットルームを作成してやり取りしましょう。なお、過去のやり取りに戻りたい場合は、サイドバーから該当するチャットルームを選択することで再開できます。

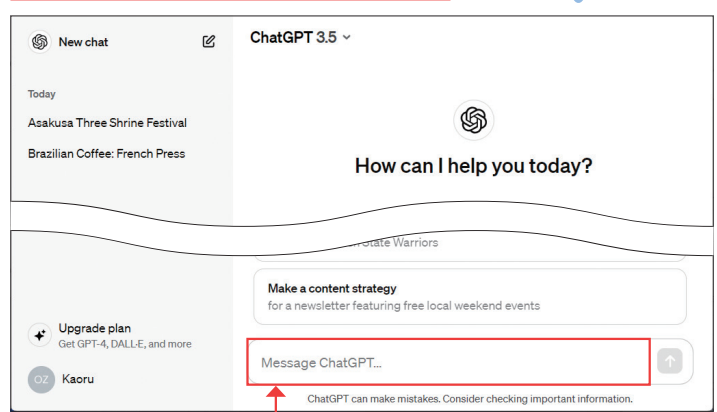
1 新規チャットルームを作成する

チャットルーム内でやり取りを続けていると、やり取りの内容を前提とした回答が生成されるため(36ページ参照)、別の話題にも関わらず過去のトピックでのやり取りが回答に反映されてしまいます。新しいチャットルームを作成することで、ゼロからやり取りをはじめることができます。

1 [New chat] をクリックすると、



2 新規のチャットルームが作成されます。



3 プロンプトを入力・送信して質問を開始します。

チャットルームをたくさん作成したら、44~45ページを参考に利用しやすく整理しましょう。



Section

26

箇条書きのメモを文章にまとめてもらおう

活用シーンとできること

- ・ビジネス
- ・箇条書き
- ・メモ

箇条書きのメモと一緒に「文章にまとめて」といったプロンプトを送ると、メモが自然な文章にまとめられます。会議やミーティングの記録をまとめる際に役立ちます。

1 箇条書きのメモを文章にまとめてもらう

ヒント

よりわかりやすい文章にする

メモから文章にまとめてもらう際に、「〇〇という分野を中心に」「〇〇という単語の解説もあわせて」といった具体的な指示を送ることで、よりわかりやすい文章にできます。

会議やミーティングでは話し合った内容を箇条書きなどメモの形で残すことが多いですが、会議のあとでメモから文章にまとめる際に手間がかかってしまいます。時間がないときは、ChatGPTに箇条書きのメモと一緒に「文章にまとめて」といったプロンプトを送りましょう。メモの内容が自然な文章となるため、会議内容を報告するときやミーティング内容を共有するときなどに活用できます。

You
以下のメモは、会議の内容を箇条書きにしたものです。文章にまとめてください。

- ・開催日
2024年4月8日
- ・内容
前回の議事録の確認
前回の会議でのアクションアイテムと進捗の確認
今回の会議の目的と期待値の共有
プロジェクト進捗報告
チームメンバーの報告

ChatGPT
2024年4月8日に開催された会議の内容は以下の通りです。

会議では、まず前回の議事録を確認しました。その後、前回の会議で決定されたアクションアイテムの進捗状況を確認しました。その後、今回の会議の目的と期待値を共有し、プロジェクトの進捗状況について報告しました。最後に、各チームメンバーからの報告を行いました。



2 文章を箇条書きにしてみよう

補足

箇条書きにもらったあと

ChatGPTは同一のチャットルームでのやり取りが記憶されているため、一度「箇条書きにして」と送ると、そのあとのやり取りも箇条書きのままになります。箇条書きをやめたい場合は、「文章で説明して」といったプロンプトを送る、新規チャットルームを作成する(42ページ参照)といった対応をしてください。

文章の内容が難しい、文章が長いといった場合は、箇条書きのほうが理解しやすいことがあります。わかりにくい文章がある場合は、その文章と一緒に「箇条書きにまとめて」といったプロンプトを送ります。また、ChatGPTに情報を出力してもらっている際にも文章が長いと感じた場合は、「箇条書きにして」といったプロンプトを送ることで、箇条書きにしたうえで情報を提供してもらうことができるようになります。

You
以下の文章を箇条書きにまとめてください。

前回の会議でのアクションアイテムと進捗が確認され、特に以下の点が強調されました。プロジェクトAの進捗において、課題1「制作費について」と課題2「人員配置」に関する解決策の検討が行われています。プロジェクトBの予算更新が完了し、新しい予算に基づいて作業が進行しています。

ChatGPT
会議でのアクションアイテムと進捗の確認に関する要点は以下の通りです：

- ・前回の会議でのアクションアイテムと進捗が確認された。
- ・特に、プロジェクトAの進捗に焦点が当てられた。
 - ・ 課題1「制作費について」と課題2「人員配置」に関する解決策の検討が進行中。

You
会議に必要なものについて箇条書きでまとめてください。

ChatGPT
会議に必要なものは以下の通りです：

- ・参加者リスト
- ・アジェンダまたは議題リスト
- ・開催日時と場所
- ・前回の議事録
- ・プロジェクトや議題に関する資料やデータ
- ・議事進行のためのファシリテーターまたはモデレーター
- ・議事録を取るためのノートやコンピューター
- ・決定事項やアクションアイテムを追跡するための手段（例：タスク管理ツールなど）
- ・必要に応じて、プレゼンテーション資料やビジュアルエイド

箇条書きを再度わかりやすい文章に組み立て直してもらうこともできます。



2 修正箇所を指摘してもらおう

ただ修正してもらうのではなく、具体的にどの部分がおかしいのかも指摘してもらおうと、自分では気が付かなかったミスを発見できるかもしれません。また、はじめに「誤字脱字の指摘のみ」とどめるよう指示するパターンもあります。

You
どこがおかしかったのか知りたいので、修正すべき箇所を指摘してください。

ChatGPT
すみません、説明が不足していました。指摘すべき箇所を具体的に述べます。

指摘すべき箇所:

1. "平静"→"平成": 原文では「平静レトロブーム」になっていましたが、正しくは「平成レトロブーム」です。
2. "かんがい深さ"→"感慨深さ": 原文では「かんがい深さ」になっていましたが、正しくは「感慨深さ」です。
3. "メディア"→"メデア": 原文では「メディア」になっていましたが、正しくは「メデア」です。
4. "それが市場やメディアに影響を与えています"→"それが市場やメディアに影響を与えています": 原文では文末が不自然で、正しくは「影響を与えています」となります。

🗑️ 👍 🗨️ 🔄

You
以下は、「平成レトロブーム」についてまとめた文章です。誤字脱字があれば箇条書きで指摘してください。

ChatGPT
文中の誤字脱字を箇条書きで指摘します:

1. 平静→平成
2. かんがい深さ→感慨深さ
3. メデア→メディア
4. それが市場やメディアに影響を与えています→それが市場やメディアに影響を与えている
5. 新しい時代において→新しい時代においても

🗑️ 👍 🗨️ 🔄



Section

40

自分で作った文章の誤字や脱字を修正してもらおう

活用シーンとできること

- ・ビジネス
- ・文章の修正
- ・誤字脱字

読みやすい文章を作るためには、添削や校正が欠かせません。一般的には第三者のチェックや専用ツールに頼りますが、時間やコストがかかってしまいます。ChatGPTは、スピーディーに誤字や脱字の修正を行います。

1 誤字や脱字などを修正してもらおう



注意

ChatGPTの性能は完璧ではない

ChatGPTの校正の能力は完璧ではありません。ときにはミスを見落とすこともあるため、最終的には人間のチェックが必須です。

エッセイ、企画書、メールなどでは、プロフェッショナルな文章が求められます。誤字や脱字があると、読み手を混乱させてしまうだけでなく、自身への印象が悪くなってしまう可能性もあります。

ChatGPTは、正確な文章を作成するための添削や修正にも役立ちます。自分で作成した文章とあわせて、「誤字脱字を見つけて修正してほしい」と指示してみましょう。

You
以下は、「平成レトロブーム」についてまとめた文章です。誤字脱字があれば修正してください。

令和では、アニメや漫画、ゲーム、玩具、テレビ番組など、平成時代に活躍した様々なコンテンツが再び注目を集め、評価を受け直しているという興味深い現象が見受けられます。これは「平成レトロブーム」と呼ばれています。

平成レトロブームでは、平成生まれの世代が大人になり、自分たちの子ども時代に愛されたキャラクターや作品に対して、なつかしさやかんがい深さを感じ、それが市場やメディアに影響を与えています。このトレンドは、日本だけでなく世界中で愛され、新しい時代においても影響を残す可能性を秘めていると考えられています。

ChatGPT
以下は、修正された文章です。

令和では、アニメや漫画、ゲーム、玩具、テレビ番組など、平成時代に活躍したさまざまなコンテンツが再び注目を集め、評価を受け直しているという興味深い現象が見受けられます。これは「平成レトロブーム」と呼ばれています。平成レトロブームでは、平成生まれの世代が大人になり、自分たちの子ども時代に愛されたキャラクターや作品に対して、なつかしさや感慨深さを感じ、それが市場やメディアに影響を与えています。このトレンドは、日

63

スマートフォンで
ChatGPTを使ってみよう

ここで学ぶこと

- ・スマートフォン
- ・ログイン
- ・チャット

iPhone、AndroidでもChatGPTの利用が可能です。パソコンで作成したChatGPTのアカウントでスマートフォンアプリにログインし、手軽にChatGPTを楽しみましょう。

1 ChatGPTのアプリにログインする



補足

Androidの場合

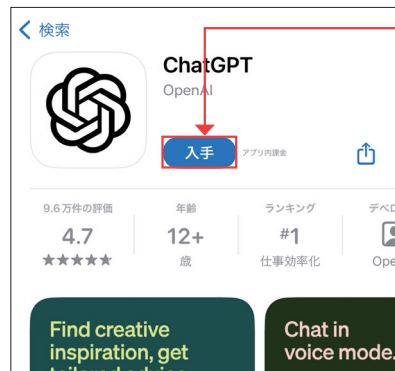
AndroidでChatGPTを利用する場合は、Playストアで「ChatGPT」アプリを検索し、[インストール]をタップします。ログインの手順は基本的にiPhoneと同様です。



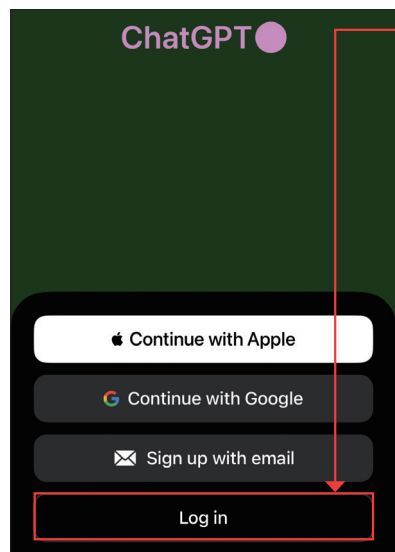
補足

ChatGPTのアカウントを作成する

スマートフォンでChatGPTのアカウントを作成する場合は、Apple ID、Googleアカウント、メールアドレスのいずれかの情報を使用します。手順2の画面で利用するアカウントをタップし、画面の指示に従ってアカウントを作成しましょう。



1 iPhoneのApp Storeで「ChatGPT」アプリを検索し、[入手]をタップしてインストールします。



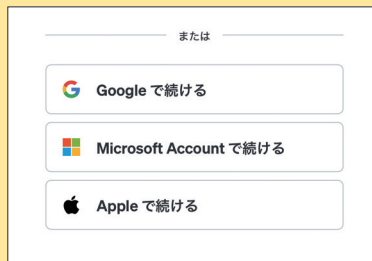
2 ここでは登録済みのChatGPTのアカウントを使用してログインします。画面下部の[Log in]をタップします。



補足

外部サービスのアカウントを使用してログインする

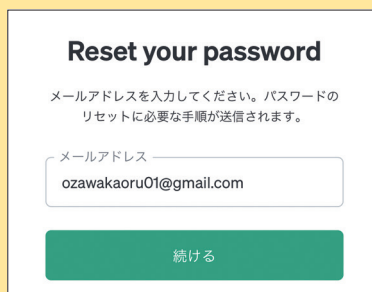
Googleアカウント、Microsoftアカウント、Apple IDのいずれかの情報を使用してChatGPTのアカウントを作成した場合、手順3の画面下部の[Googleで続ける][Microsoft Accountで続ける][Appleで続ける]のいずれかをタップし、画面の指示に従ってログインしましょう。



補足

パスワードを忘れた場合

ChatGPTのアカウントのパスワードを忘れた場合、手順5の画面で[パスワードをお忘れですか?]をタップします。登録したメールアドレスにパスワードをリセットする手順が送信されるので、メールの指示に従ってパスワードをリセットしてログインします。



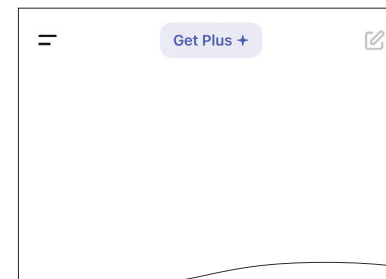
3 登録に使用しているメールアドレスを入力し、

4 [続ける]をタップします。

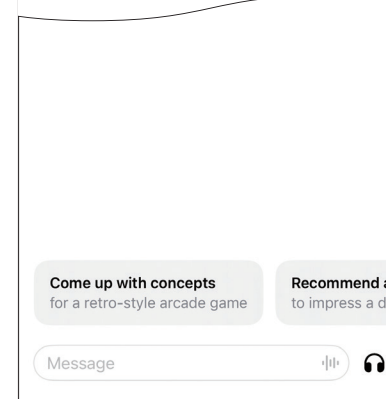


5 設定したパスワードを入力し、

6 [続ける]をタップします。



7 「Welcome to ChatGPT」画面が表示されたら、[Continue]をタップします。



8 ログインが完了し、ChatGPTの画面が表示されます。